

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 044	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 植木生産における廃棄物の軽減	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 伝統的な植木生産技術では露地に直接植栽し、出荷時には植物繊維由来の根巻テープ、紐を利用するため、比較的プラスチック使用は少なかったが、近年定着した地中埋設型コンテナやポリポット苗は、植栽現場において大量の廃棄物が出るのが問題となっている。 生分解性素材の開発が進んでおり、新素材の植木生産資材への利用について研究を要望する。 また、育苗期間中に生じる剪定枝や花、果実は一部はチップ化、堆肥化が図られるが、埋設や焼却処分される量も多い。剪定枝の切り枝としての利用や花、葉及び果実の加工等の利用により廃棄量の軽減を図るとともに、その樹種の特性を発信し樹木苗の販売に寄与させたい。そこで、植木生産における余剰物の利用方法についての研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) (実施) 生分解性資材の活用法の検討 (実施中) 新作物・優良品種選定試験		
対応の内容等	植木生産における生分解性プラスチックポットの利用技術について、上記試験研究課題の中で実施します。 また、剪定枝の切り枝利用に関しては、オリーブ、オガタマ、ユーカリ等で観賞価値の有無、水あげ、日持ち等を実施しており、次年度からはカラーリーフ類等の利用についても上記試験研究課題の中で実施します。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			